

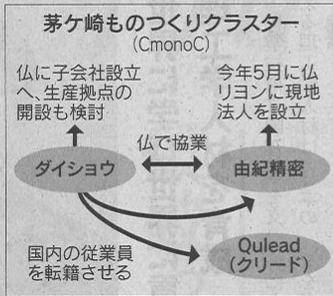
2015.09.16.

日本経済新聞 首都圏経済面に掲載いただきました。

2015年(平成27年)9月16日(水曜日)

金属部品加工、仏に拠点

茅ヶ崎発 欧州を開拓



神奈川県茅ヶ崎市の若手経営者のネットワークに属する金属機械部品加工業者が相次いでフランスに拠点を構える。ダイショウ(石塚裕社長)は10月にも現地子会社を設立する計画。由紀精密(大坪正人社長)もすでにリヨンに現地法人を開設した。両社とも将来性を見込める航空宇宙関連を強化する方針で、相互に協力しながら、同分野が盛んな欧州で本格的な市場開拓を目指す。

ダイショウと由紀精密 航空宇宙を強化

茅ヶ崎の製造業の若手経営者が2009年に設立したネットワーク「茅ヶ崎ものづくりクラスター(Cmonoc)」の参加企業が協力して市場



茅ヶ崎市のものづくり企業が欧州市場開拓(6月、パリ国際航空ショー)に共同出展した由紀精密のブース

開拓する。
1967年創業のダイショウは産業機器向けなどを得意とする金属加工会社で、国内での生産を同ネットワークのメンバーのQulead(クリード)に移管し、石塚社長は「18年には欧州の売上高で4億円ほどを目標にする」。

長がフランスで「ダイショウSARL(仮称)」を設立する計画だ。すでに従業員はクリードや、同じく金属加工業の由紀精密に移した。

現地で加工設備を持つ企業と連携しながら16年の生産拠点の開設を検討する。石塚社長は「退路を断って挑戦し、欧州の航空宇宙関連のメーカーなどからの部品加工を受託していきたい」と話す。

由紀精密は電子部品のほか、航空機器部品なども手掛ける。リヨンに設立した現地法人は「ユキプレシジョンSAS」で、資本金5万ユーロ(約680万円)。現地採用の日本人社員1人体制で始め、航空宇宙関連の営業活動などにあたる。

11年からパリ国際航空ショーに出展し、Cmonocのメンバーと共同でブースを設けたこともあるなど、現地の足場固めをしてきた。現在の海外売上高比率は10%弱だが、20年までに50%まで高めたい考え。

由紀精密とダイショウは現地で協力して市場開拓する。ダイショウがフランスに生産拠点を構えた場合、フランスにはその活用も検討する。

フランスには欧州航空機大手エアバスが本社を置くトゥールーズ市など航空宇宙関連企業の集積地がある。パリでは航空関連の一大展示会「パリ国際航空ショー」が開かれて最新の情報が集まっているため、フランスに拠点を構えることにした。

Cmonocは09年に茅ヶ崎のものづくり企業7社で結成した。クリードは同メンバーの永井機械製作所とシンクフォーが合併し、社名を変更した。それぞれの得意分野を生かした役割分担で欧州市場を開拓し、成長を目指す。